EXM-065

JZZ638168

LIXIL 折板カーポート 折板の連結 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
お願い	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工上のご注意＞

⚠注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
●部材の固定
・必ず指定の組立ネジ・ボルトを使用してください。また、施工後ネジ・ボルトにゆるみがないか点検してください。

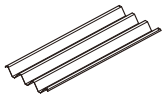
＜取付け上のお願い＞

お願い

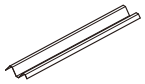
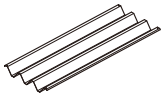
●取付けは専門業者が行なってください。専門知識のない方が取付けされますと不具合の原因となることがあります。
●本製品施工の際は、D522（MAM-45）、D523（MAM-46）「取付説明書 －基本・横連棟－」、D524（MAM-48）「取付説明書 －縦連棟－」、D525（MAM-47）「取付説明書 －採光タイプ（ポリカ折板）－」を併せてご使用ください。
●ペフ付折板のペフはキズがつきやすいため、取り扱いには気を付けて施工してください。

■梱包明細表

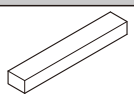
【1】ペフ付折板

名　称	略　図	員　数
ペフ付折板		1

【2】ポリカ折板

名　称		略　図	員　数
ポリカ折板	1山		1
	3山		1

【3】折板連結部品セット

名　称	略　図	員　数	
		1台用	2台用
折板連棟水止めパッキン		1	2
取付説明書（EXM-065）	－	1	1

1. 折板の加工

1-1　折板の加工

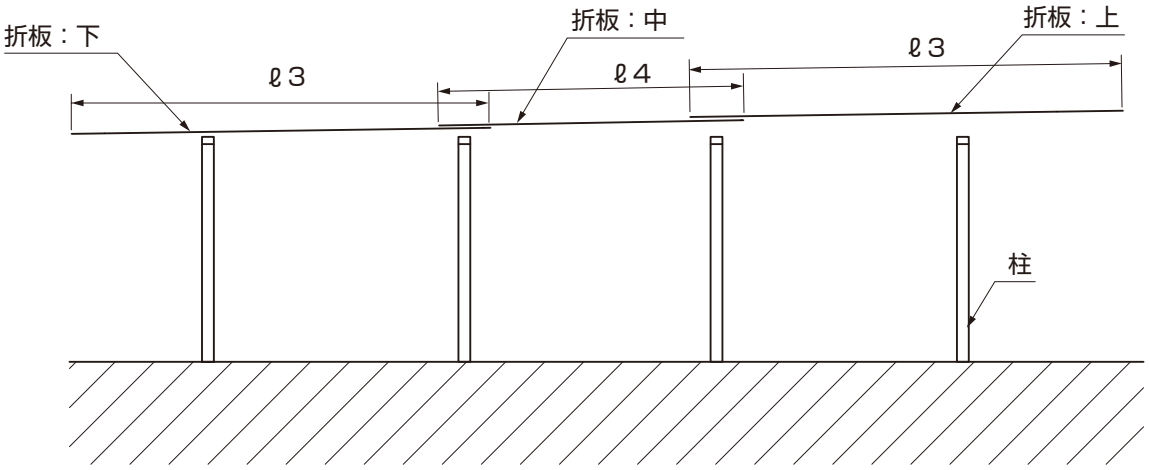
お願い

●側枠の加工は、D524（MAM-48）「取付説明書 ー縦連棟ー」をご使用ください。

（1）縦連棟 4本柱+4本柱

注意

●4500タイプ4本柱+4本柱仕様は、必ず1.0㎜厚の折板を使用してください。



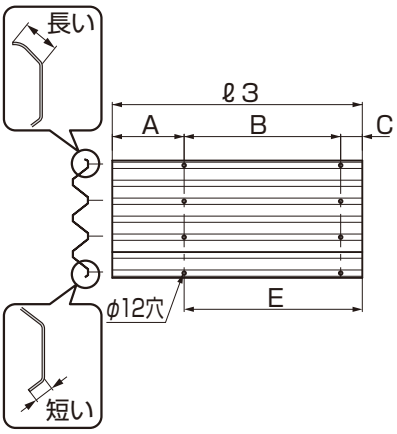


図1-1　折板下 加工位置図

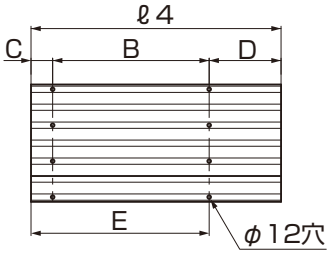


図1-2　折板中 加工位置図

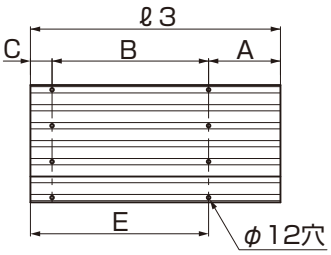


図1-3　折板上 加工位置図

表1-1　折板加工位置

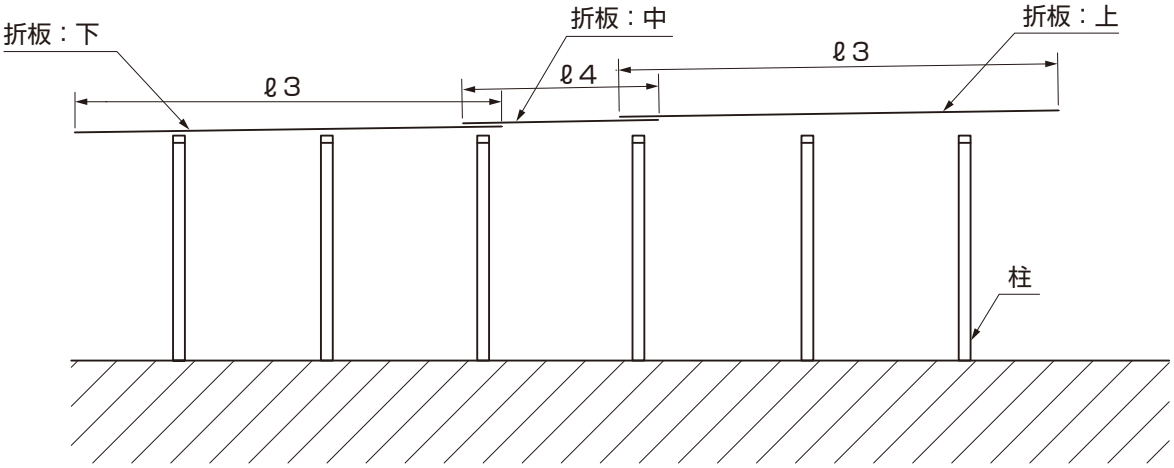
柱本数	サイズ呼称	ℓ3	ℓ4	A	B	C	D	E
8	L55+55	4050	3400	1050	2900	100	400	3000
	L60+60	4600	3400	1500	3000	100	300	3100

①図1-1、図1-2、図1-3、表1-1を参照して、折板を加工してください。

お願い

●柱を移動した場合、加工位置を調整してください。
●加工後は折板から切粉を取除いてください。サビの原因になります。

（2）縦連棟 6本柱+6本柱



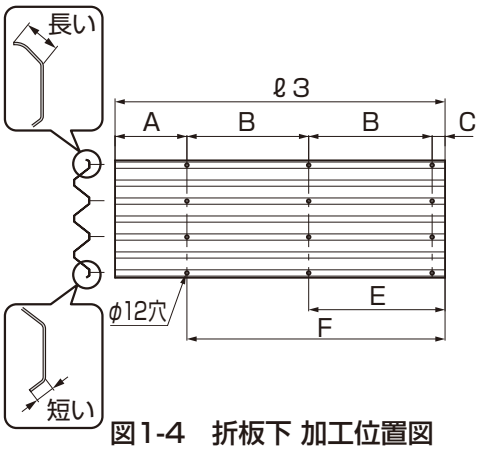


図1-4　折板下 加工位置図

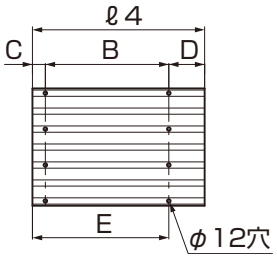


図1-5　折板中 加工位置図

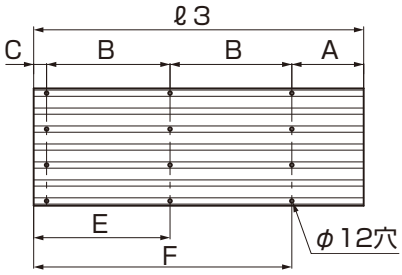


図1-6　折板上 加工位置図

表1-2　折板加工位置

柱本数	サイズ呼称	ℓ3	ℓ4	A	B	C	D	E	F
12	L55+55	4550	2300	650	1900	100	300	2000	3900
	L60+60	5050	2300	750	2100	100	100	2200	4300

①図1-4、図1-5、図1-6、表1-2を参照して、折板を加工してください。

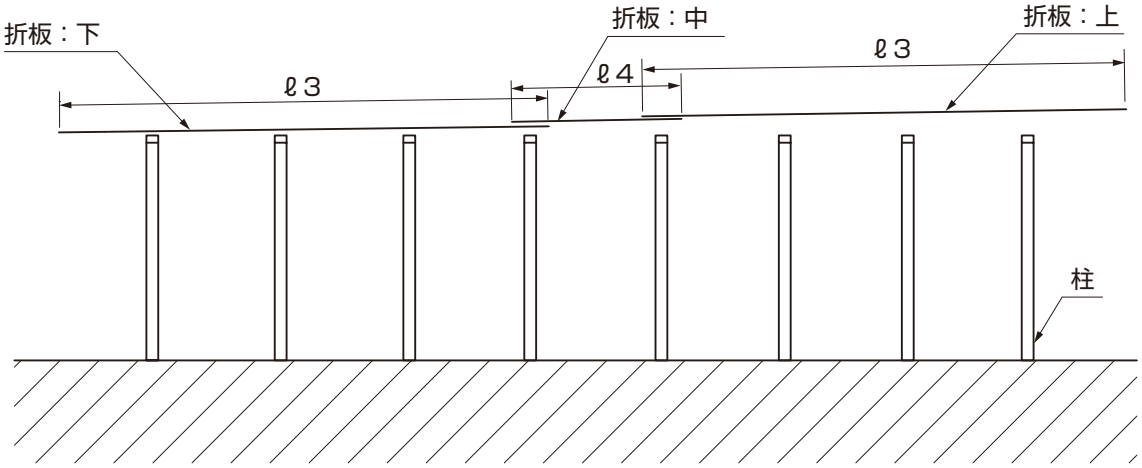
お願い

●柱を移動した場合、加工位置を調整してください。
●加工後は折板から切粉を取除いてください。サビの原因になります。

1.（つづき）

1-1　つづき

（3）縦連棟 8本柱+8本柱



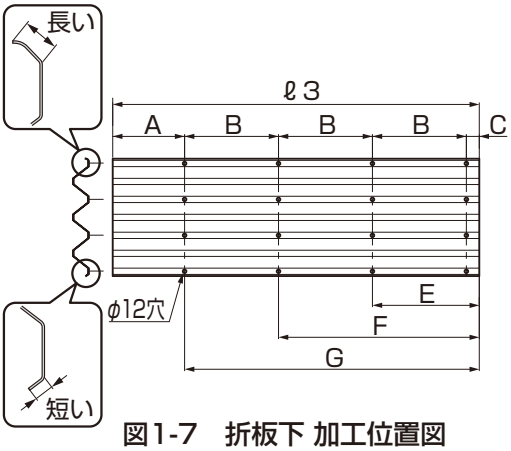


図1-7　折板下 加工位置図

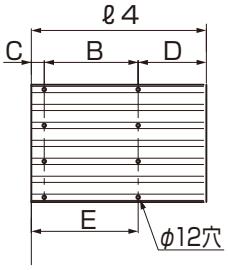


図1-8　折板中 加工位置図

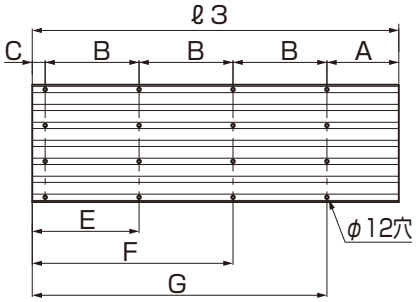


図1-9　折板上 加工位置図

表1-3　折板加工位置

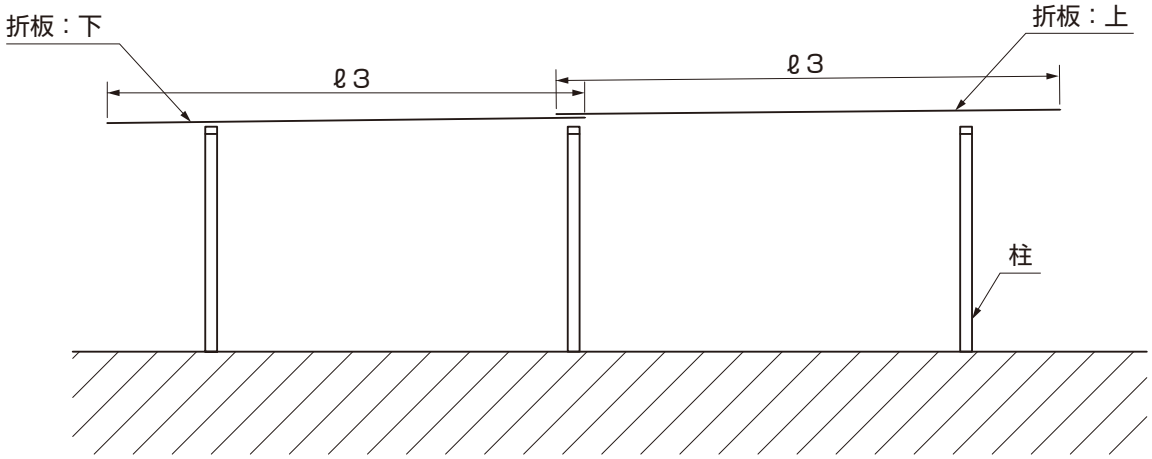
柱本数	サイズ呼称	ℓ3	ℓ4	A	B	C	D	E	F	G
16	L55+55	4800	1800	500	1400	100	300	1500	2900	4300
	L60+60	5300	1800	400	1600	100	100	1700	3300	4900

①図1-7、図1-8、図1-9、表1-3を参照して、折板を加工してください。

お願い

●柱を移動した場合、加工位置を調整してください。
●加工後は折板から切粉を取除いてください。サビの原因になります。

（4）4本柱+長さ12延長



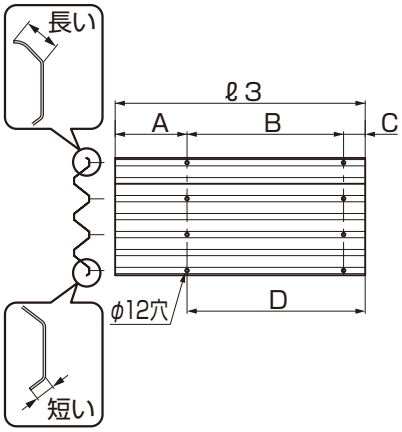


図1-10　折板下 加工位置図

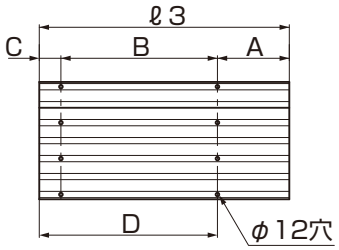


図1-11　折板上 加工位置図

表1-4　折板加工位置

柱本数	サイズ呼称	ℓ3	A	B	C	D
4+2	L55+55	3400	899	2401	100	2501
	L60+60	3700	999	2601	100	2701

①図1-10、図1-11、表1-4を参照して、折板を加工してください。

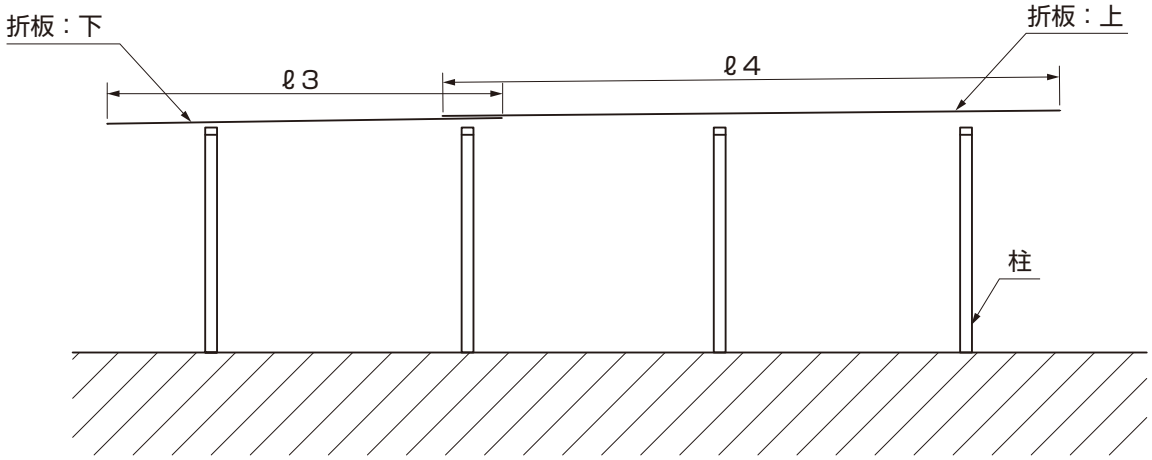
お願い

●柱を移動した場合、加工位置を調整してください。
●加工後は折板から切粉を取除いてください。サビの原因になります。

1.（つづき）

1-1　つづき

（5）6本柱+長さ12延長



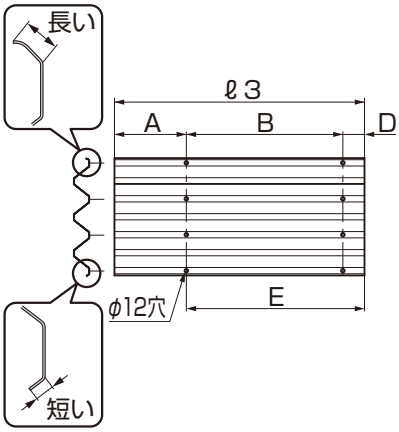


図1-12　折板下 加工位置図

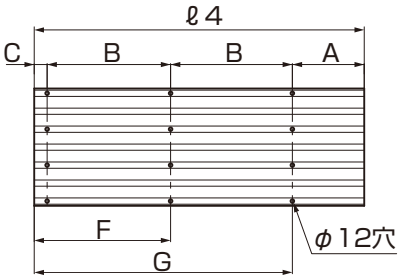


図1-13　折板上 加工位置図

表1-5　折板加工位置

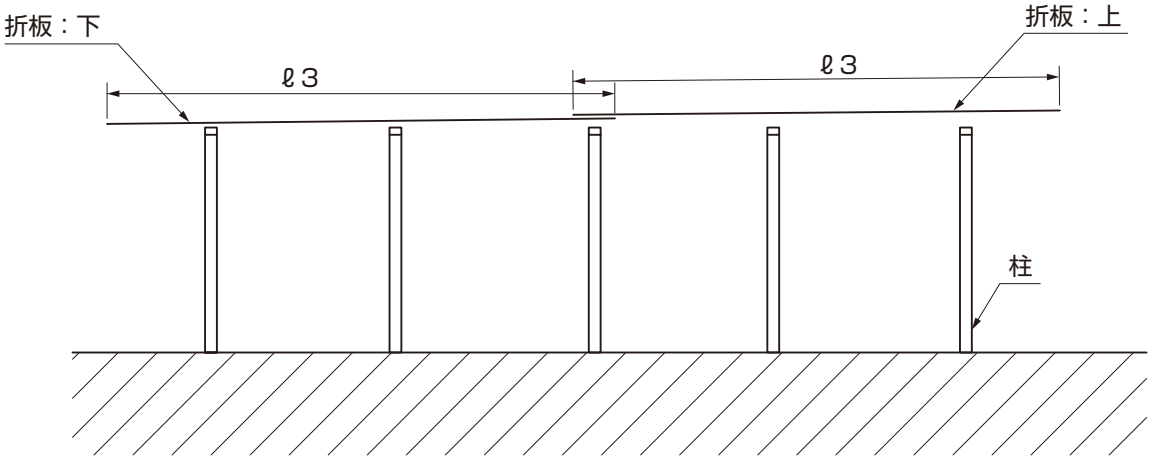
柱本数	サイズ呼称	ℓ3	ℓ4	A	B	C	D	E	F	G
6+2	L55+55	2800	4300	598	1801	100	401	2202	1901	3702
	L60+60	2800	4650	748	1901	100	151	2052	2001	3902

①図1-12、図1-13、表1-5を参照して、折板を加工してください。

お願い

●柱を移動した場合、加工位置を調整してください。
●加工後は折板から切粉を取除いてください。サビの原因になります。

（6）8本柱+長さ12延長



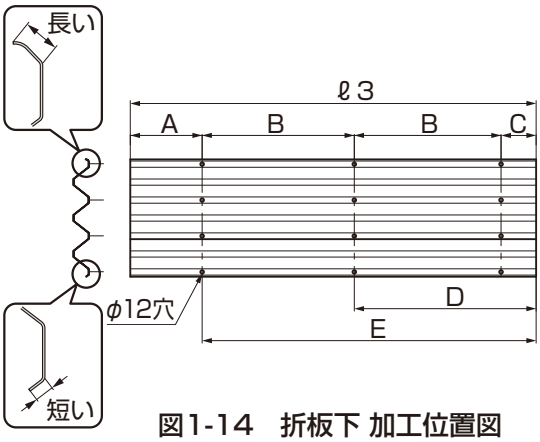


図1-14　折板下 加工位置図

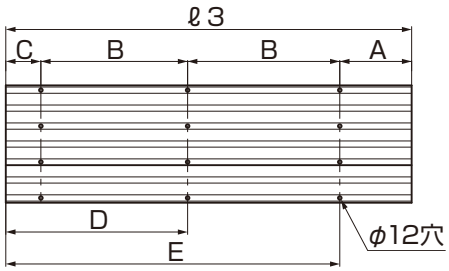


図1-15　折板上 加工位置図

表1-6　折板加工位置

柱本数	サイズ呼称	ℓ3	A	B	C	D	E
8+2	L55+55	3400	498	1401	100	1501	2902
	L60+60	3700	598	1501	100	1601	3102

①図1-14、図1-15、表1-6を参照して、折板を加工してください。

お願い

●柱を移動した場合、加工位置を調整してください。
●加工後は折板から切粉を取除いてください。サビの原因になります。

2. 折板の取付け

2-1　折板の取付け（重なり部）

お願い

●折板は水こう配下側より取付けてください。
●ペフ付折板のペフはキズがつきやすいため、取り扱いには気を付けて施工してください。
●重なり部以外の折板および折板ボルトの取付けは、D522（MAM-45）、D523（MAM-46）「取付説明書 －基本・横連棟－」を参照してください。

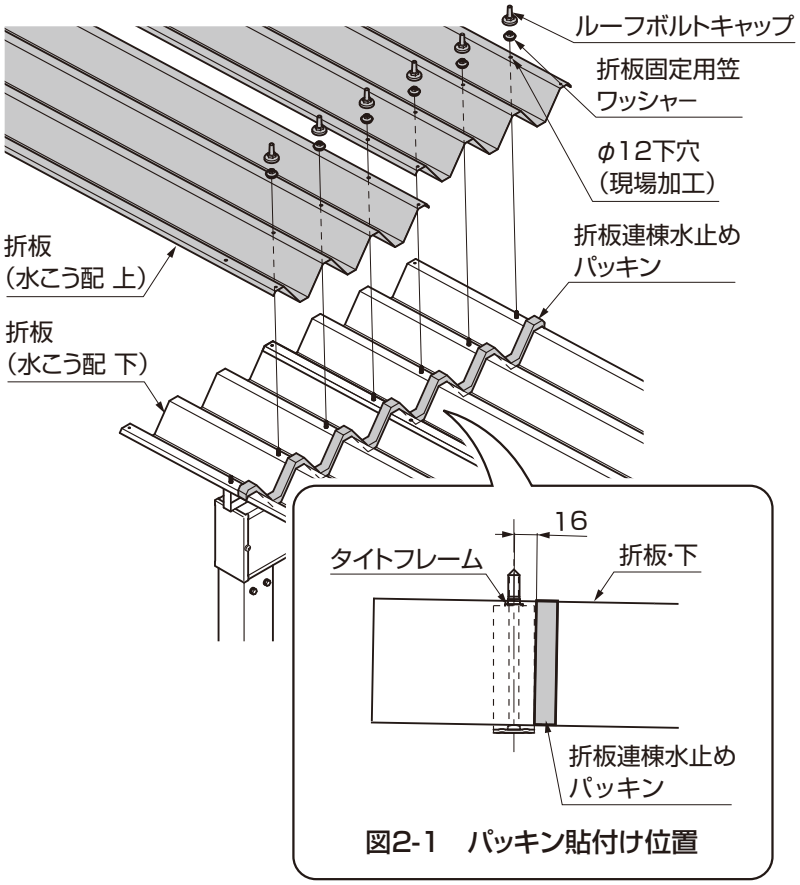
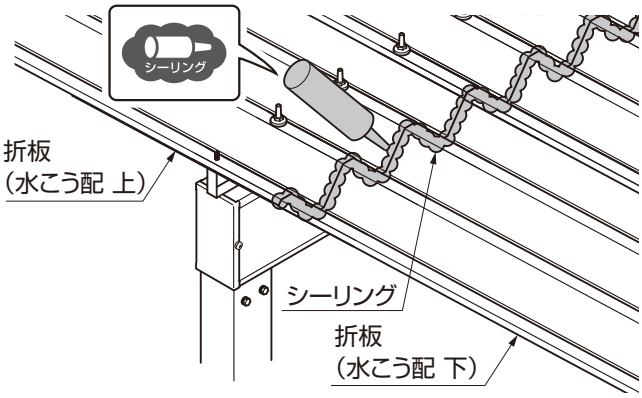


図2-1　パッキン貼付け位置

①水こう配下側の折板を取付けてください。
②水こう配下側の折板に折板連棟水止めパッキンを貼り付けてください。（図2-1参照）
③水こう配上側の折板を取付けてください。
④奥行柱ピッチ2400以上の場合、折板ボルトの取付けが必要になります。（D522(MAM-45)、D523(MAM-46)「取付説明書-基本･横連棟-」参照）

お願い

●パッキンの貼付け位置は、タイトフレームから16mmでタイトフレームの水下側になります。（図2-1参照）
●2台用でパッキンをつなぐときは折板の山の上で行なってください。



④上側の折板を固定後、重なり端部にシーリングをしてください。

お願い

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

取説コード
EXM-065
JZZ638168
202210_1049